

## もくじ

- 新年を迎えて …… 1  
ふれあいまつり …… 2  
敬老の集い …… 3  
合同防災訓練 …… 4  
再発見ウォーク …… 4  
ふれあいサロン …… 5  
みやたのくらし …… 5  
支部だより …… 6

# 宮田まなざし

宮田学区  
コミュニティ推進会  
第104号  
令和2年1月1日発行  
(発行責任者)  
田尻 久  
(編集)  
広報部



新年、明けましておめでとうございます。皆様には

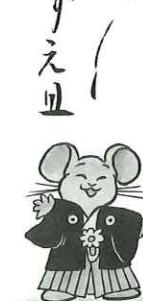
田尻 久  
日立市  
ゆめ国体  
一ナをメイン会場として体操

昨年は「いきいき茨城  
ゆめ国体」が開催され  
日立のよいところも見ていました



題字・高田瑞穂

会長  
宮田学区  
コミュニティ  
推進会



など、数種類の競技が行われました。また、アリーナには新天皇・皇后両陛下がご来場になり、選手や応援の方々も大感激だったことでしょう。さらに「花いっぱい運動」や道路清掃など、多くの方々が国体開催のために協力し、日立のよいところも見ていました

だけたと思います。

令和元年の各事業も皆様のご協力によって計画通りに進めることができました。特に「3校合同防災訓練」は避難訓練をメインに、駒王中学校の生徒および宮田小学校の保護者の参加もあり、間仕切り作製、水消火器訓練など、多くの方に様々な体験をしていただきました。

「みやたふれあいまつり」も

よい天気の中、楽しく開催することができました。大抽選会も盛り上がり、名前を呼ばれた方のうれしそうな笑顔が思ひ浮かびます。

いま、高齢化が加速し、少子化と相まって高齢者世帯や一人暮らしの世帯が増えています。地域のつながりや「向こう三軒両隣り」など、共助の精神が求められています。

「明るいまち宮田」を構築するためにも、皆様の知恵とご協力をお願いたします。

本年も皆様にとって幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

当学区には子ども会がなくなり、高齢者クラブも1団体だけです。町内会としての活動も縮小しています。これらは、コミュニティ推進会の課題の一つとして受け止め、連帯意識を強めていく必要があります。

訓練をメインに、駒王中学校の生徒および宮田小学校の保護者の参加もあり、間仕切り作製、水消火器訓練など、多くの方に様々な体験をしていただきました。

「みやたふれあいまつり」もなく、隣り同士で声をかけ合うこともつながりを強めることに切れません。災害に対する対策を家族は勿論、隣り近所とのつながりを持つていることが大事だと考えます。

では、もし私たちが同じような状況になつた時、どうすればいいのでしょうか。命を守るために何もなかつたから大丈夫とも大勢いらっしゃいます。

では、もし私たちが同じような状況になつた時、どうすればいいのでしょうか。命を守るために何もなかつたから大丈夫とも大勢いらっしゃいます。

ふ  
れ  
あ  
い

# 令和元年度 宮田学区敬老会

## 長寿をお祝いして

・9月29日(日) 宮田小学校体育館



天候の悪い日が続いて心配していましたが、何とか令和最初の敬老会を宮田小学校体育館において開催することができました。

当日は、米寿の方57名、百歳以上の方7名を含め、前年より10名少ない826名の

敬老会を開催することにより、学区内に住む高齢者を敬愛して長寿を祝うとともに、高齢者の自立や地域の人々との交流を図る機会とし、また

高齢者や子どもたちの参加のもと、世代間の交流を通じて親睦づくりを目指し、楽しい敬老会となるように計画しました。

式典では、主催者を代表して



「お楽しみの部」では、みやた認定こども園ほし組・そら組の園児57名による「これがほんのおまつりさ」と「童謡メドレー」が披露された後、おじいさん、おばあさんの肩たたきや遊びを通してふれあい、楽しいひとときを過ごしました。宮田小学校5年生56名による元気いっぱいの「花笠音頭」ではアンコールの声がかかり、再度披露するほどで会場を大いに湧かせ、盛り上げてくれました。

また今回、交流センターを利用している2つの団体の皆様の協力を得て、阿波踊りと



民謡が披露されました。「かみね天風連」の阿波踊りでは、華やかな浴衣姿で力強くリズミカルに踊られ、会場の方々も一緒に踊って楽しんでいただきました。

「響会」の皆様には、心にしみわたる声で民謡を披露していただきました。その後、全員で真室川音頭や花笠音頭、



日立音頭を普段は出したことがないような大きな声で歌い、誰もが清々しそうでした。さらに、本年度も行事などが詰まっているにも関わらず、駒王中学校の生徒にボランティアとして参加していただきました。皆さんのがい力で会場を盛り上げてくれました。心から感謝いたします。

このように多くの皆様のご協力もあり、敬老会が地域に住む人々とのふれあいや交流の場として少しでも役に立てたのではないかと思います。「人生100年時代」と言われるようになってきた昨今、健康を維持し、できるることは自分でやることが一番重要ではないでしょうか。その一方で、年齢を重ねるごとに交流の場はますます少なくなることがあります。

そこで、コミュニティ推進会では健康維持を目的に「ふれあいサロン」や「健康クラブ」「健康体操教室」などを開催していますので、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。皆様がいつまでも健康で楽しい生活が送れますように願っています。

最後に、ご多忙の中をご協力いただきました地域の方々をはじめ、学校関係、実行委員の皆様、ありがとうございました。感謝申し上げます。

# みやたふれあいまつり

• 11月10日(日曜日)  
• 宮田小学校 校庭



9時半から各支部の模擬店とフリーマーケットが開店し、賑やかになりました。グラウ

水は甘いぞ」で、昔のパン食い競争の要領で吊り下げられました。個個人種目「こつちの

様から高齢の方まで楽しく参加していただきました。

小さいお子

1UPによるダンスの披露があり、フラのグル

露がありました。

その後、駒王中学校科学実験部の「おもしろ実験」が



ありました。風船を使った実験や表面張力の実験、紫キャベツの実験など、生徒たちの日々の勉強の成果が発揮された発表でした。

支部対抗「缶積み競争」では、高さの異なる缶を積み上げて高さを競いました。途中で缶が崩れるチームもある中、大平AP支部と神田支部が同

秋晴れの暑いぐらいの天気の下、今年の「みやたふれあいまつり」を盛大に開催することができました。午前9時の開会式に続いて「北町子ども鳴物」による日立風流物のお囃子の演奏から始まりました。



点となりました。ジャンケンの結果、大平AP支部が1位の賞品を手にしました。

さらに、「阿波踊り」では、会場の皆さんと一緒に場内を踊って廻り、みんなで楽しいひとときを過ごしました。

最後の「○×クイズ」では、漢字の読みの問題と通常の問



題が出題されました。やさしい問題もあればむずかしい問題もあつて、皆さん苦労されたようです。

また、かみね動物園の「ミニ動物園」では、ウサギやモルモット、ヘビが登場し、子どもたちは楽しそうに動物たちとふれ合っていました。

いいよいよ皆さんお待ちかねの「大抽選会」です。特賞から6等までの賞品を目指し、当選者の名前が読み上げるたびに歓声とため息が交いました。当選され本当によかったです。閉会式の後に片づけを行い、無事終了することができました。

この「ふれあいまつり」を実施するにあたり、企画・立案をはじめ、準備や進行などご尽力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。



# 合同防災訓練参加でいざといふ時に備える

昨年10月26日(土)、当コミュニティ推進会では「合同防災訓練」を実施しました。

今回の訓練では、参加者が大幅に増加しました。平成30年度の601名の参加者に対し、令和元年度は920名と約150%の増加でした。

背景としては、第一に駒王中学校生徒の参加です。第二は、台風による水害や土砂災害が県内でも起きたことから地域住民に不安感をもたらしましたと考えられます。



これらの災害における死者は日々に「想定以上だった」と口々に「ここに住んで40年になるが、初めて経験した」と話します。自分の判断による避難の遅れ、また避難無視の結果を悔やんだ自分自身への後悔の言葉が聞かれました。

自治体からの「レベル4」の発表は、以前の避

難勧告・指示に相当します。ご自分はもとより、子や孫など、家族全員の判断で避難対応をお願いいたします。

近年の災害で、気にはかかるポイントがあります。避難所の不足や収容人数オーバーの問題です。都内では一ヵ所の避難所に4000名を超える住民が集まり、収容しきれないとの報道がありました。

この地域では過日の台風の際、宮田小学校と駒王中学校併せて約50名の方が避難されました。宮田学区コミュニティ推進会管内には約3000世帯が集まっています。今後は自治体と協議し、避難所の増加を図つていかなければならぬと考へています。どうぞ、本年もよろしくお願いいたします。

実行委員長 岩間廣道



助川前坪天道塚にて

10月5日(土)、文化体育部では「再発見ウォーク」を開催しました。今回は、昨年度雨のために中止となつた中小路学区を歩きました。

コースは、宮田交流センター日立市役所を巡りました。

妹島和世さん設計の日立駅と日立市役所を巡りました。

コースは、宮田交流センター↓土佐稲荷↓助川前坪駅↓馬頭観音↓伊謝波神社↓土佐稲荷↓助川前坪天道塚↓弁天様(沼川弁財天)↓二十三夜尊↓日立市役所↓宮田交流センターで昼食後に解散しました。案内は「日立のまち案内人」の安藤寿さんにお願いしました。



助川弁財天社にて

古くからの伝統を守っている伊謝波神社をはじめ、土佐稲荷神社、天道塚、弁天様、二十三夜尊、殿畠不動尊などが、新しい建物の中にひとつりと併んでいました。

個人的な感想ですが、日立セメントは明治40年に設立され、昨年4月に大平田鉱山から石灰石の搬送をやめ、規模を縮小したのは誠に残念です。

また、弁天池脇の日立消防署跡が現在の桐木田の広さに較べ、いかに狭かつたことか。参加者が20名以下と少なかつたのは、PR不足を感じています。来年度からは、宮田学区へのPRもしっかりやつていただきたいと思います。

部長 橋 郁夫

## 再発見ウォーク

【文化体育部】

現在、当サロンは会員が57名で、月2回、バラエティに富む内容で展開中です。創設15年、先輩が築いたこの糸をつなげつつ頑張っています。そして魅力ある内容にするため、アンケート調査や皆様への呼びかけ、励ましを行つてきました。開催内容には、目に止まつた自然の風景や自力で会場に来られる喜びも伝え、参加の助長を促しています。わがサロンの特徴として、毎月の開催にあたつてボランティアの担当を決め、進行し

ふれあいサロン・北町

北町支部



ちは、サロンのおかげで兄弟姉妹のような絆を深め合つて「いつまでも元気でね」と、感謝の気持ちを忘れません。

ふれあいサロソヘ行こう！

神田支部

スタッフ 沼田龍子

て、戦争のない世界平和の大  
切さを痛感しました。

宮田村の資料を読む

ないか調べてみたところ、同年9

鮸やイルカが大量に打ち上げられるのは地震の予兆だという話をよく聞きますが、天保10年に大地震があつたという記録は見つかりませんでした。他に考えられる要因は

シリーズ⑯ みやたのくらし

料には「天保10年（1839）9月9日の朝6時頃に宮田村山崎の渚で鯨の類いの大魚が17本打ち寄せたのを塩作りの人々が発見し、普段見慣れないので数人集まり隣りの浜から船が集まり、その肉を切り取つた」と書かれています。その後、「4本は骨ばかりで身がない、3本は砂に埋め、残りの10本を捌き、その肉を入れました」ようです。

今から180年前、宮田村に鯨のような魚が流れ着いたことがあります。これは、郷土博物館が所蔵する江戸時代の資料に記されています。名誉市民の根本甲子男氏の旧蔵資料です。

な砲撃戦があつたようですが、  
関係はあるのでしょうか。

域や国内、さらには世界の社会状況などを照らし合わせると、資料から直接読み取れる以上のことわざがわかつたり、新たに気づいたりすることもあり、これもまた資料に触れるご紹介した資料の他にも、郷土博物館では宮田をはじめ市内に関する資料を数多く所蔵しています。ぜひお越しのたび、様々な資料に触れていただければ幸いです。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。





10年ぶりに町会の役員を引き受けました。この一年の活動を通して感じたことは、当支部もご多分に洩れず、年々加速する高齢化と人口減少が支部活動のエネルギーと行動力をむしばんできているということです。

支部独自の行事といえば、神峰神社境内にある「愛宕山神社祭礼」で、近隣4町により2日間にわたりて祭礼を行うのですが、参加者の高齢化と人数の減少で、年々個の負担が増えてきています。

## 町会活動における閉塞感と情報発信

支部長 軽部恵一

★本町支部

**支  
部  
だ  
よ  
り**

ただ、支  
部や交流セ



ンターの行事に参加し、同じ問題を抱えている他の支部の皆さんとの会話の中で、問題解決の方法や実践されていることについて、気づくことや感じることがありました。

それらの見聞きした情報を微力ですが、いろいろな機会を利用して会員の皆さんに伝えられればと思っています。

★北町支部

## 活動が停滞する中 諸行事を楽しむ

支部長 水庭亮三

北町支部の活動拠点がなくなりて活動がこれまでのようにできなくなり、停滞の状況になっています。このようない環境に置かれても、最低限の活動を続けなければならず、7月には町内の守り神である「天王様」(素鷲神社)の例祭を催行しました。

## 常陸大宮への バス旅で親睦を

★東町一区支部

支部長 佐藤弘

11月13日(水)、35名の参加者を得て、関東の嵐山とも言われる常陸大宮市の「四季彩館」と城里町の「道の駅から」へのバスの旅を楽しんできました。



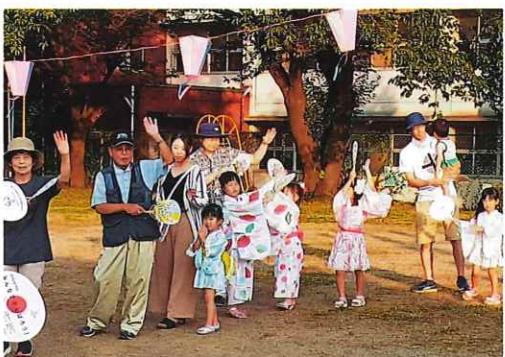
11月には、宮田コミュニティ推進会主催の「ふれあいまつり」が実施され、当支部は恒例のうどん・そばの模擬店を出店しました。本年度はそのトッピングに、これまでの「かき揚げ」から「肉」に変更したところ、これまでのかき揚げに勝るとも劣らない味に仕上がり、好評でした。

ここも水害による温泉の被害が心配されましたが、ようやく温泉が間に合い、安心しました。温泉は勿論、料理も品数が多く、飲物とカラオケを楽しみながら、大いにふれあうことことができました。

これで今年度の当支部の行事は最後となります、今後も積極的に企画してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

優勝：成沢／5位：仲町  
2位：十王／6位：助川  
3位：大沼／7位：滑川  
4位：諏訪／8位：宮田

次回の開催は、令和2年6月17日(水)です。たくさんの方の参加を期待します



**地域を明るくする  
親善ゴルフ大会**

11月14日(木)、絶好の小春日和のもと、8学区のコミュニティ推進会が主催する「地域を明るくする親善ゴルフ大会」が日立ゴルフ場で行われ、110名が参加しました。

最初に立ち寄ったのは道の駅でしたが、途中の川の決壊や浸水の被害の甚大さに改めて驚くとともに、早めの避難がいかに大切か、全員で認識を新たにしました。幸いにも道の駅は復興が進んでいて、新鮮な野菜もあつたので買物を楽しむことができました。

次に向かったのは、旅の目的地である「四季彩館」です。ここも水害による温泉の被害が心配されましたが、ようやく温泉が間に合い、安心しました。温泉は勿論、料理も品数が多く、飲物とカラオケを楽しみながら、大いにふれあうことことができました。

団体戦は前回の第3位から大きく順位を下げ、最下位になってしまいました。個人戦は北町支部の鈴木信一郎さんが頑張ってくださいましたが、残念ながら8位以内の入賞者はおりませんでした。



## 編集後記

▼『宮田まなざし』第104号をお届けします。

▼今年の干支は「庚子」です。「鼠が塩を引く」という諺があります。極めて少量ずつで目立たなくとも、積もり積もれば大量となるということで、小さな努力が、いずれは大きな実を結ぶという意味です。

今年も、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。